



右側第1肢と第4肢とは最初脱落して全く無かつたのであるが、脱皮してこれだけの大きさのものが發生した。此の再生肢には全く斑紋が無いが、次回の脱皮後には完全な肢に成長するのである。

(本誌 Vol. 2 No. 2 p. 68 参照)。